

緑風会 今井 俊郎 議員

不登校対策について

(質問) 現場の教員は日々の業務が多忙で不登校児童や生徒に関われない現状があるが、行政支援は限界がきているように考える。スクールカウンセラーそして民間の団体や大学生のボランティアの協力で、行政支援では手の届かないところは、民間支援で不登校の解消につなげていくべきと考えるがどうか。

(答弁) 教育委員会事務局は、初期対応の充実や人員の増員などにより不登校対策の強化を図っている。文部科学省は、不登校対策における民間支援の活用について、地域の実情などを十分に踏まえ、段階的に推進する必要性を指摘しており、今後は不登校児童生徒の多様な状況によりきめ細かく対応していくために、民間の団体などを含む多様な関係機関との連携について研究していきたい。

その他の質問 ○男女共同参画推進について
○地籍調査について

公明党 船間 涼子 議員

成年後見制度について

(質問) 身寄りのない認知症高齢者、親亡き後の不安を抱える知的障がい者や精神障がい者に対して、意思決定支援・身上保護を重視した成年後見制度の利用促進が求められている。住み慣れた地域で、生きがいと尊厳をもって生活できるよう、地域で連携し、見守り支える市民後見人の養成を進めることが必要で

あるが、本市の取り組みや考えを尋ねる。

(答弁) 市民後見人は、市民の生活感覚を生かしたきめ細かな後見活動ができ、その養成と実際に活動いただける人材確保は重要な課題であると認識している。市民後見人の育成は、地域住民への啓発と理解を深めることが必要である。本市と鈴鹿市後見サポートセンターみらいとの協働により、市民後見人・親族後見人などの育成に向けて、今後、市民向け成年後見入門講座開催を予定している。

その他の質問 ○図書事業について

無所属の会 明石 孝利 議員

地域防災計画から地区防災計画へ

(質問) 本年2月、南海トラフ地震の30年以内の発生確率が70%から80%と10%引き上げられたが、そのような中、鈴鹿市全体の広域的な地域防災計画から、市内各地区の居住者などが自らの手で、自分の命、身の安全を守るべく、地区の特性を生かし、かつ自助・共助の根幹である地区コミュニティを生かし

た地区防災計画を早急に策定すべき時なのではないか。そしてそのために、現在まだ市内1地区しかできていない地区防災計画の策定に向けて、「地区防災計画作成マニュアル」をつくり、市がイニシアチブを取り、進めていくべきと考えるが、いかがか。

(答弁) 今後、先進自治体の取り組みについて研究し、地区防災計画作成マニュアルに取り組むとともに、地区防災計画作成の目標値達成に向けて計画的に取り組んでいきたい。

その他の質問 ○企業版ふるさと納税の活用について

市民クラブ 大西 克美 議員

白子駅西駐輪場の整備事業

(質問) 新たな駐輪場の整備計画について。

(答弁) 公益財団法人自転車駐車場整備センターと使用貸借契約などを締結し、同センターが、現在の白子駅西第2・第3自転車駐車場の場所と白子駅西の近鉄線沿いの水路敷地の上部に新たに有料制の自転車駐車場を設置して、25年間の管理運営を行う。

整備では、屋根の修繕、管理棟の新設、照明灯や防犯カメラといった防犯設備の設置、自転車ラックの新設などを行う予定である。



全体の工事費は約1億6,500万円を予定しており、本市の負担は1,843万5,000円となっている。

その他の質問 ○南海トラフ減災の車中泊整備について